

# 木津川市教育委員会会議録

令和7年第1回木津川市教育委員会定例会

○日 時：令和7年1月27日（月） 午前10時30分から午前11時32分まで

○場 所：木津川市役所 4階 4-3、4-4会議室

○出席者：竹本充代教育長、有賀やよい委員、小松信夫委員、佐脇貞憲委員、皆川麻紀委員  
（事務局）平井教育部長、八田理事兼文化財保護課長、大村理事、山口理事、福井教育部次長兼教育総務課長、東村学校教育課長、中島社会教育課長

1. 開 会       教育長  
                教育長あいさつ

2. 前回会議録の承認  
                委員から異議なく承認された。

3. 議事  
    《議案第1号 史跡恭仁宮跡（山城国分寺跡）保存活用計画の策定について》  
        教育長が、事務局に説明を求めた。  
        事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

資料6ページ、24ページ、120ページに一部文言の修正がある。整合性、体裁を整えるためであり、内容に変更はない。

計画案についてパブリックコメントを12月4日から1月6日まで実施し、4名から23件の意見等があった。主な意見等は、修正や補足説明の必要性を指摘するほか、ガイダンス施設や資料館の整備の提案や、保存活用事業運営・体制の中心に地域活動団体と土地地権者を位置付けていることに対する意見など。

計画内容の概要について説明。大綱として、目指すべき目標を「府内最古の都城跡である『恭仁宮跡（山城国分寺跡）』を保存活用し、地域の生活環境と共存しながら未来への継承を目指す。」とし、三種の保存管理地区区分いずれでも遺跡の保存上必要な場合は公有化を行うこと、整備は今後の維持管理にかかる課題解決や活用と連動した整備手法を目指し、京都府と木津川市が連携・協力して事業を進めること、運営・体制では土地地権者・市民、地域活動団体と木津川市が連携する運営体制の充実強化を図り、幅広い協力・支援・連携の体制構築に努めること、などが主なポイント。

【質疑】

教育長：平成18年に策定した保存管理計画を発展的に改定したもので、特に活用についても重視した計画ということか。

事務局：そのとおり。

教育長：恭仁宮の範囲は広大であり、全容は明らかではない。調査しながら検討していくことになるが、調査結果により変更することもあり得るのか。

事務局：具体的な活用整備は計画の方向性に基づき、別に委員会を立ち上げて検討することになる。

教育長：地元との共存をうまく図っていく必要がある。この計画の策定委員には地元住民の方も参加されていたと思うが、特徴的な意見は何かあったか。

事務局：文化財としての観点だけでなく、地元の住民も観光などで来られた方も気持ちよく過ごせるような活用整備を望むものや、また主に維持管理を担っていただいている団体が高齢化しているので、作業を効率化できるようにしてほしいという意見もあった。しかし、作業効率化の妨げになる土地の段差も奈良時代造成時の痕跡の可能性があり、どのように共存させていくのが課題。地元、来訪者、研究者など誰もが快適で、気持ちよく納得できる活用整備と保存を目指していきたいということが委員の総意である。

教育長：特別史跡の指定を目指している。ほかの宮跡は市街化されていることが多い。恭仁宮跡は景観も含めて古代を偲ぶことができ、そこにも価値がある。活用整備計画の作成は難しいとは思いますが、よく検討してもらいたい。

事務局：資料館などの施設を整備してほしいという意見も多いが、重要な遺構が残っているため配慮が必要。その遺構が残っていたため、これを参考にして平城宮大極殿の復元が可能になったということもある。遺構を壊すことなく整備する必要がある。また、景観も重要である。大きく現代的な建物を建設すると、景観が損なわれるという危惧もある。計画の策定委員会でも話が出ていたが、そういった課題を考慮して施設整備をする必要がある。

委員：パブリックコメントで意見を出されたのは、どういった方たちか。

事務局：歴史に興味関心があり、委員会の傍聴もされた方などで、4人とも市内在住の方である。

委員：恭仁小学校は恭仁京のメインとなる場所にある。恭仁小学校を含めた整備についての記述はあるのか。

事務局：史跡の価値とは別に地域の文化そのものにも副次的な価値があるという記述があり、いずれも大事にすべきとの立場で書かれている。計画の策定委員には恭仁小学校のPTA会員など関係者も参画いただいた。地元には、校舎を含め恭仁小学校存続を望まれる方もおられる。

委員：小学校の整備については、明記されていないが、史跡の公有化を進める中で、恭

仁小学校も含めてどのように整備していくかは記述しなくていいのか。

事務局：恭仁小学校は、他の公共施設も含めて重要な位置を占めている。どのように活用するのかは今後の検討課題になる。

委員：公有地とは市の所有になるということか。市の予算の範囲内であるのか。国や府からの補助などはないのか。

事務局：国から8割の補助がある。また恭仁宮跡は京都府が直営で調査をしていることから、府も1割を補助している。また残りの市負担分に対しても起債が可能で、元利償還金に対しても国からの財政支援がある。

委員：補助などを受けていても購入した土地は市のものになるのか。

事務局：市の土地となり、史跡の最大の地権者として管理団体となっている。また整備には別の補助制度がある。他の史跡でも公有化は国が8割補助している。

委員：市単費であれば、他の事業を圧迫することになり、公有化や整備にも厳しい意見が出るように思う。国などの補助が高い率で出されているとわかり安心した。

事務局：高度経済成長の時期に、史跡を破壊から守るため、買い上げに対する国の補助制度ができた。

委員：他国では戦争で遺跡などが破壊されることもある。同じような発想が当時の政府にもあったということか。

事務局：市民による文化財保護運動もあった。

### 【採決】

教育長が議案第1号について採決を行い、全員一致で可決された。

教育長が木津川市教育委員会会議規則第3条第3項に基づき追加議案を発議した。

《議案第2号 木津川市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書（令和5年度実施事業）について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

### 〔説明〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会が所管する事務の管理及び執行状況について、学識経験者から助言を受け自ら点検評価を行い、市議会に報告し、公表するもの。

教育振興基本計画に沿って評価書を作成している。

### 【質疑】

教育長：主な事業等について説明願う。

事務局：教育支援センターについて、令和5年4月に改称、11月には加茂教室を開設した。給食費については、物価高騰により原材料費も値上がりしているが、保護者負担を据え置くため補助金を支出した。学校施設については、木津小学校の北校舎解体、外構整備、相楽小学校の北校舎改築などを実施した。社会教育施設では、令和5年度から2か年計画で中央図書館の改修を行った。

委員：講評していただいた学識経験者は元校長か。

事務局：そのとおり。昨年度も依頼した。

教育長：評価者の総評を掲載している。指摘を踏まえて、事業に活かしていく。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に定められているため、事業等について自主点検し、令和7年第1回の市議会で報告後公表する。

### 【採決】

教育長が議案第2号について採決を行い、全員一致で可決された。

#### 4. 教育長報告（令和6年12月24日～令和7年1月26日）

教育長が、事業報告に基づき報告を行った。中でも次の点について、説明があった。

- ・ 12月26日 社会を明るくする運動京都府作文コンテストに入賞した小学生が報告に来庁された。
- ・ 1月11日 木津川市二十歳のつどいに出席した。参加者アンケートに回答するようネットで呼びかけている。
- ・ 1月12日 第27回近畿ブロックバウンドテニス選手権大会に出席した。競技者の年齢層が広く、楽しんで参加されていた。
- ・ 1月16日 令和6年度相楽地方学校保健研究大会に出席した。
- ・ 1月18日 第4回木津川市「少年の主張」大会に出席した。小中学校各上位3名が相楽の大会に出場する。
- ・ 1月19日 木津川市ふれあい文化講座を開催した。
- ・ 1月23日 安全安心まちづくり会議に出席した。この会議は年2回開催され、木津警察署と協議や情報交換、互いの取り組みなどを報告し、安心安全なまちづくりについて施策や考えを共有している。
- ・ 1月25日 第11回当尾文化祭に参加した。
- ・ 1月26日 歴史巡りマラソン in 木津川が開催され、500人を超える方が参加された。
- ・ 1月27日 教育委員会定例会、令和6年度第3回総合教育会議

## 5. その他

### (1) 今後の行事予定

事務局が、今後の行事予定について説明を行った。

#### 【質疑】

教育長：泉川中学校の研究報告会はどのようなものか。

事務局：教育振興助成を申請し、指定を受けて、旧加茂町の町花であるあじさいに関する研究をしている。栽培など、ICTを活用している。またあじさい栽培を通じて地域交流のあり方の探求などにも取り組んだ。この取り組みをまとめたものを12月に東京でパネルを使用して発表した。発表後、質疑応答もあり、しっかりと答えていた。今回は生徒代表者2名が来庁し、発表する。

委員：授業の一環での取り組みか。

事務局：総合的な学習の時間を利用して取り組んだ。

教育長：研究、発表と生徒には良い経験になったと思う。

(4) 次回教育委員会は、令和7年2月13日（木）午後に木津川市役所で開催することを確認した。

教育長が、会議を閉会した。